

KiKiの広場

2021年 7月 1日
cafe NO.129
KiKi



東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、祝日が移動しました。東京中心部の混雑緩和を図るためですが、その前にオリンピックどうなるんだらうって思わずにはおれません。緊急事態宣言が解かれてリバウンドが始まりつつある中での開催、是非を問う声もありますが、こうなったらもう、どうか感染が広がることなく無事に終わってほしいと願うしかありません。選手のみなさんや準備に携わって来られた方たちのことを思うと、何とか成功してほしい、開催できてよかったと言えるオリンピック・パラリンピックになってほしいと祈るばかりです。

7月の予定

休館日	13日(火)
定休日	毎土・日・月曜日



🍰「今月のケーキ」…「紅茶のシフォンケーキ」300円 🍰

「気まぐれシェフ」ならぬ「生真面目シェフ」の KiKi オリジナルシフォンケーキです。今回は、紅茶の香りを楽しみながら、しっとりふわふわの口当たりをお楽しみください。生クリームとの相性ピッタリです。

今日のお気に入り…「暑い夏だからこそ、楽しみたい絵本！！」

～「すいか!」「365まいにちペンギン」「なみ」「きんぎょのかいすいよく」「スイミー」「たなぼたものがたり」などなど～



「すいか!」は、文は石津ちひろさん、絵は村上康成さんです。豪快で美味しそうなすいかに見とれつつ「す・い・か」の折句の言葉遊びも楽しめます。夏にぴったりの絵本です。「365まいにちペンギン」は、毎日1羽ずつペンギンが送られてくるお話です。読み進めていけばいくほど、「何で?」「どうするの?」となりますが、最後に「はあ～、そういうこと。」と納得。オチも最高です。



今日の本棚…「エリック・カールの世界」



～「たんじょうびのふしぎなてがみ」「ごきげんななめのてんとうむし」「ちいさいたね」「あいえない!」「ちいさなくも」など～



今年5月23日に亡くなったエリック・カールの特集です。誰もが知っている「はらぺこあおむし」は、アメリカではコストの面などで折り合いがつかず、日本の偕成社が手をあげて刊行されたと知って、何だかすごく嬉しく思いました。エリック・カールの残した言葉、「その人生で三度絵本と巡り会う。幼年時代の最初の書物としての出会い、親として我が子とともに手に取る再会、孫へ贈るための今ひと度の再会である。」を、今まさに実感していますが、子どもの頃好きだった絵本を我が子にもそして孫にも、繋いでいける楽しんでもらえるって、こんな幸せなことはないですね。だからこそ、絵本はいつまでも大事に大事に側に置いておきたいと思います。



ホッとフレイク

ヒストリアのアイドル!! その6…「あ～っ! やっちゃった! 事件」2歳9か月になったKちゃん。館長に買ってもらったベビーベットも、今ではベビーサークルとして使われています。最近はその中でお絵描きしたり、おもちゃで遊んだり、時々ジャンプしてダメよと注意されたり、日々成長を遂げています。そんなある日、元気を持って余したKちゃんが、いつものようにサークルの中でジャンプを始めました。お母さんのKさんが、「ジャンプすると底が抜けるからやめようね。」と言った直後、「バキッ!!」と大きな音が。居合わせた私もびっくり。もちろん一番びっくりしたのはKちゃん。案の定、底板を支える板が折れてしまっていました。そのままでは危ないので、Kさんと2人でどうしようかといういろいろやっている間、さすがに神妙な顔のKちゃん、ちょっぴり涙も。Kさんが、「じーじに直してもらおうね。」と言うと、小さく頷いたKちゃんでした。私が帰る時、「なーやしゃん、またなおしてね。」と声をかけられ、Kさんと2人顔を見合わせ思わず笑ってしまいました。さすがにいけないことをしてしまったと思った、Kちゃんの心の叫びだったのでしょうか。ギュッと抱きしめたくなるほど愛おしいKちゃんです。ちなみに底板は、Kちゃんパパが半日かけてなおしてくれたそうです。よかったね、Kちゃん。(^-)-☆

